

令和4年度 「特色ある学校づくり対策事業」実践事例



佐世保市立花高小学校



=めざす児童像=
考える子
やさしい子
強い子

所在地 佐世保市花高3丁目4番1号
校長 高島 秀雄
児童数 599名
学級数 23学級



グラウンドゴルフ交流（3年生）



高齢者・障がい者疑似体験（4年生）

1 目的

- 児童の発達段階に応じた様々な学習活動を通して、命や環境の大切さを学ぶとともに、学校が一人一人にとって楽しい学びの場となることで、学校教育目標である「強い子」「考える子」の具現化を目指す。
- 活気と潤いのある学校環境を整備するために、学年園等において学年に応じた草花や作物の栽培を推進する。また、地域の方との交流や平和学習等を通して児童の情操を高め、命を大切に育てる心により、学校教育目標である「やさしい子」の具現化を目指す。
- 学習指導において、特別支援教育の考え方をベースとした主観的・客観的児童理解の充実を図るとともに、生命尊重、親切・思いやり、規範意識を重視した学びの深化を図りながら、やさしさあふれる自他の関わり方を身に付けることを目指す。さらに、落ち着きある生活が送れるよう「花高あいさつ・返事・廊下歩行・ふわふわ言葉」を啓発することにより、学校教育目標である「考える子」「やさしい子」「強い子」の具現化を目指す。
- 近隣の保育所や幼稚園の園児を招き、接続カリキュラムに則った遊びやふれあい活動等を通して交流を深め、小学校への円滑な移行を目指す。

2 実践内容

対象学年	時期	活動場所	活 動 内 容
1年	6月 ～ 11月 11月 12月	学年園 体育館 中庭 等	<p>【サツマイモを育てよう】</p> <p>いもさしに始まり、水やりや草取りなど、分担・協力して世話をすることで、秋には多くのサツマイモを掘り出し、収穫の喜びを味わうことができた。栽培活動を通して、生命の大切さを実感することができた。</p> <p>【ものの なまえ（幼保小連携交流）】</p> <p>園児に、国語の学習で学んだ物の名前の書き方を教え、カード作成を行った。そのカードを使い、小学生と園児がグループになり、お店屋さんごっこを行った。活動を通して、自分たちの成長を実感することができた。学校の雰囲気を感じることができた。学校の雰囲気を感じることができた。学校の雰囲気を感じることができた。</p> <p>【花の球根を植えよう】</p> <p>学校管理員に球根の植え方と育て方を指導していただいた。卒業式や入学式に向けて学校を美しく飾りたいという思いをもって、一人一人が花の球根植えに取り組んだ。春の開花を楽しみに、熱心に世話を続けることができた。</p>
2年	5月 ～ 8月 10月 ～ 2月	学年園 学年園	<p>【夏野菜を育てよう】</p> <p>生活科で、ミニトマト・オクラ・ナス・ピーマン・キュウリなど、夏野菜の苗を植えて育てる学習に取り組んだ。水やりや草取りなどの世話を熱心に行うことで、どの野菜も順調に成長し、収穫の喜びを味わうことができた。また、野菜を実際に育てる中で大変な苦労があることを知り、日頃から口にしている食物の大切さを実感することができた。</p> <p>【冬野菜を育てよう】</p> <p>ダイコンとハツカダイコンの種子を購入し、学年園で種蒔きを行った。小さな種から発芽した植物が大きくなっていく様子を観察する活動を通して、生命のたくましさや力強さに気付くことができ、有意義な活動となった。</p>
3年	7月	小森川	<p>【小森川自然体験学習】</p> <p>「清流会（小森川を守る会）」の方々をゲストティーチャーに招き、事前の講習会と合わせて2回実施した。水生生物の採集・観察などの活動を通して、生き物との触れ合いを楽しむとともに、小森川の様子を詳しく知ることができ、地域の自然の豊かさに気付く良い機会となった。また、地域の方々の小森川への熱い思いを受けとめることで、児童は自然環境を守ることへの意義を感じ、自分たちのふるさとを流れる川を大切にしようという思いをもつことができた。</p>

3年	11月	運動場	<p>【お年寄りと交流しよう】</p> <p>地域の方々との交流を図るために、校区内で活動されている花高グラウンドゴルフクラブ（花高 GGC）の皆さんをお迎えして行っている恒例の活動である。基本的な打ち方やルールを教えていただいたり、一緒にゲームを楽しんだりする活動を通して、お年寄りの方々との心の交流が深まり、地域人材の活用や地域と共にある学校づくりを推進することができた。花高 GGC のメンバーの中には登下校時の見守り活動をされている方もいらっしゃるので、児童の元気なあいさつにも繋がっている。</p>
4年	7月	体育館	<p>【平和について考えよう】</p> <p>長崎平和推進協会から講師を招く形で平和学習を実施した。交流証言者の方からの詳しい話を聞くことで、改めて平和の大切さについて考える貴重な時間となった。学んだことを活かして、8月9日の平和集会で発表を行い、全校で原爆に遭われた方々の御冥福を祈ることができた。</p>
	11月	体育館	<p>【高齢者・障がい者疑似体験学習】</p> <p>「佐世保市福祉活動プラザ」からゲストティーチャーを招き、福祉体験学習を行った。車椅子や装具、アイマスク等を使って、</p> <p>体が自由に動かない状態や目や耳が不自由な状態を実際に体験することで、高齢者や障がい者の方々の疑似体験をすることができた。併せて、階段の昇降等の場面での介助の仕方も教えていただき、困っている人への接し方を具体的に学ぶことができた。貴重な体験活動を通して、福祉・共生への意識と実践への意欲を高めることができた。</p>
	11月	長崎市	<p>【平和について考えよう】</p> <p>長崎市へ出かけ、現地で平和学習を行った。班別学習では、各班に「さるくガイド」の方についていただき、平和公園付近の被爆遺構を巡る活動を行った。「山里小学校コース」「山王神社コース」「城山小学校コース」の3つのコースで行った。ガイドの方に、詳しい説明をしていただくことで、原爆の悲惨さを知り、平和への思いを深めることができた。</p>
5年	11月	体育館	<p>【メディア講習会】</p> <p>メディアの利用をめぐる児童同士のトラブルを未然防止するため、県警サイバーセキュリティ課、早岐警察署生活安全課、スクールサポーター、佐世保商業高等学校生徒の方々をゲストティーチャーに招いて講習会を実施した。スマートフォンやインターネットが孕む危険性について具体的に教えていただくことで、メディアとの上手な付き合い方を学ぶことができた。</p>
	2月	体育館	<p>【保育所・幼稚園の子どもと交流会をしよう（幼保小連携）】</p> <p>幼保小連携事業の活動として実施した。近隣の保育所や幼稚園の年長クラスの園児を招待し、スタンプラリー形式の出店周りによるグループ交流を行った。次</p>

			年度4月に新入生として迎え入れる相手に思いやりの心をもって接しながら、もうすぐ最上級生となる心構えをもつことができた。
6年	3月	校内	<p>【感謝の気持ちを伝えよう】</p> <p>卒業記念制作の一環として、この6年間、毎日の登下校を見守ってくださった「見守り隊」の方々に感謝の気持ちを伝えるために、メッセージを添えたプレゼント作りに取り組んだ。活動を通して卒業への意識が高まり、多くの方々に支えられていることのありがたさに改めて気づくことができた。</p>
全校	1月	各教室	<p>【標準学力検査の実施（算数）】</p> <p>確かな学力の定着を図るため、また、多面的な児童理解の手立ての一つとして、全学年で学力調査を行った。全国学力・学習状況調査や県・市学力調査等の結果の分析をもとに取り組んできた授業改善の成果を確かめることができた。学年末に実施したことで、個々の課題に応じた復習や習熟に活用することができた。</p>
	通年	各教室	<p>【「学びの下敷き」の活用】</p> <p>「家庭学習の手引き」を示した下敷きを配付することによって、子どもの学習習慣の定着を図るとともに、発達段階に応じた宿題や自主学習への取り組み方について、保護者にも啓発することができた。また、下敷き裏面の「学習の心構え」や「発表の仕方」を活用することで授業に臨む心構えや、相手を意識した話し方・聞き方ができるようになり、学習意欲の向上に繋がっている。</p>